

会 議 録

会議の名称	小清水町防災拠点型複合庁舎建設検討委員会 第2回会議
開催日時	令和元年6月27日(木) 13:30~15:15
開催場所	役場2階 議場
出席者	別紙のとおり
議 題	1 複合庁舎に求められる機能について 建物の構造、窓口機能、執務機能、議会機能
配布資料	資料1 防災型庁舎の紹介 資料2 第1回ワークショップの振り返り 資料3 第2回ワークショップ
会議録の作成方針	要点記録

審議内容	複合庁舎に求められる機能について テーマ：建物の構造、窓口機能、執務機能、議会機能
■当麻町はどのような事業者が行ったのか。	
→ 設計から建築、電気工事等の全てを受注することになるため、地元企業を含めた企業体を作っている。	
■木造で作っても耐震性は確保できるのか。	
→ 木造であっても基準を満たす工法はある。	
■新庁舎建設買取事業公募型プロポーザルではできないのか。	
→ 当麻町は特に町産カラマツ材の使用にこだわりたいため、このような手法を採用したが、本町と同じようなスケジュールで庁舎建設を予定している自治体が多く、事業者には負担がかかるこの手法では応募が来ない恐れがある。	
また、基本設計・実施設計をプロポーザルにより選考しようとしているが、同様の理由で、公募ではなく指名することを検討している。	
■木造の場合、柱が多くなるのか	
→ コスト削減も考慮して一般住宅とおなじ在来工法で建築しているため、柱が多くなっている。ただ、写真では柱が目立つが、執務室に入ると職員の動線や什器配置の妨げにはあまりならない。	
■岩内町の給水タンクの水は気温によって変動しないのか	
→ 庁舎内で使用される水は、一度給水タンクを経由する仕組みとなっているため常に水は循環しているが、温度の変化は不明である。	
■高校跡地と結び付けて観光拠点としてはどうか	
→ ゾーニングも含めて検討していきたい。	